

耳鼻咽喉科 専門研修プログラム

内科系、外科系どちらもできます
新生児からお年寄りまで診ます
外来診療から手術まで、ステップアップが実感できます

募集定員
3名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	東野 哲也 教授、他 4 名	929
連 携 施 設 I	県立宮崎病院、県立延岡病院、国立病院機構都城医療センター		
連 携 施 設 II	琉球大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院		

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上

連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

専門医取得までのタイムスケジュール

コース	1年	2年	3年	4年
基 本 コ ー ス	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	宮崎大学附属病院
国 内 留 学 コ ー ス	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	他大学連携施設	宮崎大学附属病院
基礎研究展開コース	宮崎大学附属病院	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	宮 崎 大 学 大 学 院
地域枠キャリア形成コース	宮崎大学附属病院	地 域 医 療 施 設	地 域 医 療 施 設	宮崎大学附属病院

プログラム達成目標

- 1 年目：**宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固める。
- 2 年目：**宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積む。
- 3 年目：**県立宮崎病院、県立延岡病院、国立都城医療センターのいずれかにおいて6ヵ月～12ヵ月間の実践的研修。
宮崎県立宮崎病院、宮崎県立延岡病院、国立都城医療センターで手術件数補填、または宮崎大学医学部附属病院でのサブ領域重点研修(サブ領域展開コース)。

- 4 年目：**宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設ける。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入学して基礎研究を開始する。

責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科
教授 東野 哲也



医師とくに外科系医師が1人前になるために不可欠なのが「良き師」であり「良き先輩」です。自分や自分の家族、患者を託すことができる

「良き指導者」のことを英語で「Mentor」と言いますので、我々のプログラムのニックネームをMENTOR (Miyazaki Ear Nose Throat Oriented Residency) プログラムと名付けました。本研修プログラム「MENTOR」のもとで育まれた専攻医が、専門医、さらには指導医(mentor)となって新たな専攻医を迎え、「宮崎ブランド」の耳鼻咽喉科専門医療技術を発展的に継承していく場になることを目指しています。

プログラムの特徴

耳鼻咽喉・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的とする。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであると同時に、学会発表や学術論文作成を通じて自然科学者としてのリサーチマインドも重視したい。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学との連携も選択可能である。

取得可能な専門医資格および技能

耳鼻咽喉科専門医：耳、鼻、口腔咽喉頭、頭頸部全ての領域において「標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムである。

主要症例と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に以下の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければならない。なお、手術や検査症例との重複は可能である。

症 例	実績数	症 例	実績数
難聴・中耳炎	25例以上	喉頭腫瘍	10例以上
めまい・平衡障害	20例以上	音声・言語障害	10例以上
顔面神経麻痺	5例以上	呼吸障害	10例以上
アレルギー性鼻炎	10例以上	頭頸部良性腫瘍	10例以上
鼻・副鼻腔炎	10例以上	頭頸部悪性腫瘍	20例以上
外傷・鼻出血	10例以上	リハビリテーション（難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下）	10例以上
扁桃感染症	10例以上		
嚥下障害	10例以上	緩和医療	5例以上
口腔・咽頭腫瘍	10例以上		

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術 特殊外来	症例検討会 術前回診	手術 聴覚支援 外来	MENTOR 朝ゼミ 抄読会	手術 特殊外来
		初診外来		初診外来	
PM	手術 特殊外来	手術 特殊外来 外勤：田野病院	手術 聴覚支援 外来	症例検討会 病棟総回診 放射線科合同カンファ	手術 外勤：発達支援 センター・田野病院
	頭頸部合同 Cancer Board		難聴支援 カンファレンス	医局会 MENTORタゼミ	

指導医からのメッセージ



医局長 後藤 隆史

みなさん、こんにちは。医局長の後藤です。当教室は、永年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置し、年2回の手術講習会開催を通じて全国の先生方と知り合う機会にも恵まれている、そんな教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外2施設に常勤医を、県内・県外の10施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしております。

ココに注目！

◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本的かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティー)を見つけることができます。

◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の約20%は女性医師です。さらに女性医師は年々増加傾向にあります。小児難聴をはじめ従来から女性医師が活躍してきた領域も多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

先輩からのメッセージ



塚田 彩美

耳鼻科へ入局して5年目になります。私は小児と関わることができ、なおかつ手術もしたいという思いから耳鼻科への入局を決めました。実際に様々な患者さんと接し、専門分野としても耳、鼻、のど、頭頸部と学ぶ分野が多く日々目まぐるしく過ぎていきますが、どの分野もとても魅力的でやりがいを感じております。現在育休中ですが、妊娠出産に際しては教授をはじめとした諸先生方にサポートしていただきながら、外来中心に産休まで診療させていただきました。耳鼻科は診療形態の選択肢が多く、女性の子育てをしながらでも働きやすい環境だと思います。少しでも興味がある方はまずは気軽に医局を覗いてみてください。



久富木 冠

入局して、1年が経とうとしています。ポリクリでの実習を通して、興味を持ったこの科の一員として、憧れだった先輩方と一緒に楽しく働かせていただいています。耳鼻咽喉科医は、音楽を聞く、睡眠をとる、食事を摂る、といった楽しく生きていく上でとても重要な役割を果たしている器官の専門家です。1年目から、これらに対し、手術・外来診療を通して深く関わることができ、症状が改善したときには、患者さんの喜びを直に体感できることが当科の魅力だと感じています。もちろん自分自身が楽しく生きることが重要で、毎朝のサーフィンは診療前の至福のひとつとなっています。ぜひ、宮崎大学病院耳鼻咽喉科で、ともに楽しく働きましょう。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2966
F A X : 0985-85-7029

担 当 : 奥田 匠

e-mail : takumi_okuda@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/

耳鼻咽喉科 HP



宮崎大学泌尿器科「CAVIAR Project」
～Career up for Valuable Life of Active Urologist～

泌尿器科専門研修プログラム

募集定員
5名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行 教授、他7名	421
連携施設	県立延岡病院、県立日南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒業後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2～3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会が決定します。



責任者からのメッセージ

泌尿器科
教授 賀本 敏行



当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

大学病院では“大学病院ですべき領域”を明確にし、連携施設との役割分担、開業医の先生との緊密な医療ネットワークを活用して、宮崎県の泌尿器科医療はかなり高いレベルになっていると自負しています。泌尿器科領域にはその他にも数多くの疾患がありますが、専門研修においては宮崎県の中で広く身につけていただくようなプログラムを作成しています。4年間で専門医を取得した後は、基礎研究に興味がある先生には大学院に進学していただきます。また希望があれば、国内の他の施設との人事交流も積極的に行っていますので、サブスペシャリティーとして特化した領域の病院や、“都会”の中核病院でのさらなる研鑽も可能です。医師として長く納得して仕事をするためには、診療の“実力”を身につけること、良い人間関係の構築、そして何より“家族”が大事です。そのためには医局の雰囲気が最も重要だと思っています。その点、当教室の医局員の皆さんは気持ちの良い先生ばかりで、大変良い雰囲気です仕事ができていると思っています。日本のトップレベルの泌尿器科になるために是非力を貸してください。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することが可能です。

取得可能な専門医資格および技能

- 1 泌尿器科専門医、指導医
- 2 癌治療認定医
- 3 泌尿器腹腔鏡技術認定
- 4 日本内視鏡外科技術認定(泌尿器科領域)
- 5 日本小児泌尿器科学会認定医

プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- 1 泌尿器科専門知識
- 2 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- 3 継続的な科学的探求心の涵養
- 4 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

主要症例と実績数

- 1 副腎 : 副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- 2 腎 : 腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- 3 尿管 : 尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- 4 膀胱 : 膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- 5 前立腺、尿道 : 前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- 6 陰囊、陰茎 : 精巣癌、陰茎癌、停留精巣、精索捻転、陰嚢水腫

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間 朝	月 カンファレンス	火 抄読会	水	木	金 カンファレンス
午前	外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置	手術	外来診察・入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・入院患者処置	カンファレンス・回診	手術	外来診察・入院患者処置	手術
夕方	小児泌尿器科カンファレンス (第2月曜)	病理カンファレンス (隔週)			

指導医からのメッセージ



潤和会記念病院 泌尿器科 医長 上別府 豊治

今回は研修医の皆さんに泌尿器科の魅力について簡単にアピールさせていただきます。まず泌尿器科は内科的分野、外科的分野の両方にまたがる非常に幅広い領域を網羅している科ですが、個人的には手術をはじめとした外科的な要素に大きな魅力を感じています。具体的には、悪性疾患と良性疾患のバランスが非常に良い外科学分野だと言えます。切除することで予後改善、根治を目指す手術がある一方で、高齢者のQOLの向上を目指して排尿関連に対する手術をすることもあります。どちらも非常に大きなやりがいを感じることができます。また当医局については、賀本教授を中心に明るい雰囲気です自由闊達に議論できるところが最もいいところです。主体的に議論に加わり臨床にフィードバックすることで得られるものはこの上なく大きいです。オンとオフのけじめもしっかりしており、いい環境で密度の濃い研修のもとにスキルアップしていくことができます。少しでも興味があればぜひ一度のぞいてみてください。絶対後悔させない自信があります。

ココに注目！

2019年より内視鏡手術支援ロボットの最新モデルである「da Vinci Xi」が宮崎県にも導入されました。現在では、週に1例はロボットを用いた前立腺全摘除術を行っています。泌尿器科は、若手からベテランまで外来診療にあたり、手術までこなします。日中は忙しいことも多々ありますが、OnとOffがしっかりしており、ゴルフ・サーフィン・サッカー・テニスなど趣味に打ち込んでいる医員も大勢います。また、近年は女性泌尿器科医も非常に増えてきており、家庭と仕事の両立や女性患者への診療も含めて、やりがいのある分野となっています。現在、初期研修プログラムの改訂により、ローテーション項目として内科何ヶ月、外科何ヶ月と決められており、宮崎大学では初期研修で泌尿器科を選択する人もあまり多くありません。泌尿器科は専門的な分野ですが、尿道留置カテーテルの管理や頻尿、尿閉など、一般病棟管理で対応することの頻度が高いトラブルに対応できるためにも、一度初期研修でローテートすることは間違いないと思います。ぜひ、一緒に働きましょう！

術式	2019	術式	2019
腎摘除術	laparoscopy 38 Open 1	内視鏡手術	TURBT 133 TURP 0 HoLEP 0
腎部分切除術	laparoscopy 17 Open 2		精巣固定術 15 陰嚢水腫根治術 2 尿道形成術 6 腎盂形成術 1
腎尿管全摘除術	laparoscopy 15 Open 0	小児手術	VUR防止術 12 TOT 2
副腎摘除術	laparoscopy 19 Open 0	女性泌尿器	TVM 0 LSC 0
膀胱全摘除術	laparoscopy 12 Open 0	腎移植	
前立腺全摘除術	laparoscopy 23 RARP 6 Open 0	その他	2 136

2019年10月から手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”が導入されたことにより、今後、泌尿器科腹腔鏡手術はロボット支援腹腔鏡手術へ移行していくと思われます。

先輩からのメッセージ



大塚 武

私は初期研修医2年目の夏に泌尿器科医の道を決めることを決めました。泌尿器科は開腹・体腔鏡手術、尿路内視鏡手術、排尿機能、生殖、小児、移植、感染症と様々な分野があります。私にとって、1つの臓器に対して診断、抗癌剤も含め内科的・外科的治療まで一貫して関わることができるところが、最大の魅力でした。宮崎大学は医局の雰囲気も良く県外で研修していた私にとっても非常に働きやすく、様々な症例を早期に経験することができます。また、他大学との交流も活発であり、充実した日々を過ごしています。少しでも興味のある方、まだ志望科が決まっていな方もぜひ、一度雰囲気を味わいに来てみてはいかがでしょうか？



藤崎 友基也

私が宮崎大学泌尿器科に入局しようと思った理由の一つに、医局の雰囲気の高さがあります。適度な上下関係はありながらも、分け隔てなく仕事や飲み会をしている姿をみて、なんて働きやすい医局なんだろう。と興味を持ちました。実際に研修で回ってみてその印象は変わらず、また、手術や癌の治療、排尿、性機能といった多岐にわたる分野をみて、さらに泌尿器科に惹かれました。私は生まれも育ちも宮崎育ちですが、宮崎大学泌尿器科は県外との交流を活発に行っており、将来県外で研修をしたいと考えている方にとっても入りやすい医局だと思います。また、若手の頃から手術や外来等の多くの経験を積むことができるのも宮崎大学の強みだとひしひしと感じております。まずは研修で回って見て、実際に雰囲気を感じてみないと宮崎大学泌尿器科のよさは伝わらないと思うので、ぜひ一度見学にきてみてはいかがでしょうか。皆様とお会いできるのを心よりお待ちしております。

世界を視野に
キャビアからはじめよう。

泌尿器キャビアを世界へ。
ともにキャビアアップしよう

宮崎キャビア



お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2968
F A X : 0985-85-6958

担当 : 上村 敏雄

e-mail : urology@med.miyazaki-u.ac.jp

泌尿器科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/



脳神経外科 専門研修プログラム

日本のひなた宮崎県で
あたたかな脳神経外科医を目指しませんか

募集定員
3名

研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	竹島 秀雄 教授、他 7 名	328
連 携 施 設	県立日南病院、都城市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院		
関 連 施 設	熊本大学附属病院、大分大学附属病院、県立宮崎病院、和田病院、西都児湯医療センター、池田病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

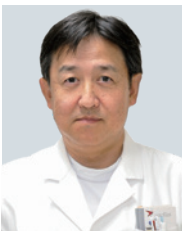
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

プログラム達成目標

当プログラム開始後 4 年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊椎疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目標とします。手技的には開頭手術や脊髄脊椎手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。

責任者からの メッセージ

脳神経外科
科長 竹島 秀雄



宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラム

で十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通過点として、血管内治療学会専門医などのサブスペシャリティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内での連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテーラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

当プログラム開始 1 年目(卒後 3 年目)は基幹施設(大学病院)で研修を開始します。2 年目、3 年目は連携施設もしくは関連施設で 1 年間ずつ臨床医師として訓練を積み、4 年目で基幹施設に戻り研修を継続、5 年目(卒後 7 年目)の夏に脳神経外科専門医試験(筆記および口頭試問)受験となります。脳神経外科専門医資格取得後はサブスペシャリティとして脳血管内治療専門医や脳卒中専門医などを任意で目指して頂きます。



主要症例と実績数

基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊椎外科手術、脳血管内手術が多くを占めます。

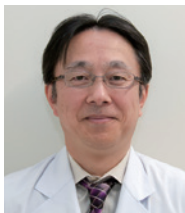
症 例	実績数
脳腫瘍手術	169
脳血管障害手術	264
外傷手術	347
先天性奇形・水頭症手術	133
脊髄脊椎手術	254
機能的疾患手術	27
脳血管内手術	286



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間		月	火		水	木		金	
午前	7:30 ~	抄読会	回 診		カンファ	回 診		回 診	
	8:00 ~	カンファ	手 術	病 棟		手 術	病 棟	手 術	病 棟
	8:30 ~								
	9:30 ~								
	10:00 ~								
午後	13:00 ~ 17:00								

指導医からのメッセージ



医局長 大田 元

私は「神経を扱う外科系」に興味があり、最終的に脳神経外科を選択しました。デリケートな部位を扱う診療科であるため、入局前や入局直後は「果たしてやっていけるのか?」という不安が多かったです。しかし多くの臨床経験を積み、先輩・同僚・後輩・コメディカルスタッフの助けを受けながら、いつの間にか脳神経外科専門医として成長できました。不安があっても相談し解決できる事は多くあります。「自分に脳外科医が務まるか」と迷っている君、安心して脳神経外科学分野に飛び込んで下さい。明るい未来が待っています。

先輩からのメッセージ



河野 朋宏

一般的な脳神経外科のイメージは、「手術が細かくて難しそう」「手術時間が長い」「とても忙しそう」という意見が多いと思います。一部は事実ですが、「忙しい」状況が永續するわけではなく、コツをつかめばオン・オフのメリハリをつけることも可能です。宮崎大学脳神経外科の門を一度叩いていただき、脳を実際に扱えることの魅力、神経科学の魅力、さらに技術的な進歩を脳神経外科医療に活かせる可能性を感じて欲しいです。そして何よりも現場にいるわれわれ脳神経外科医が、多少忙しくても、生き生きとやりがいを持って日常診療に取り組む姿勢を見ていただき、共に成長していけたらと思います。いつでも気軽に見学だけでも大歓迎です。

ココに注目！

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

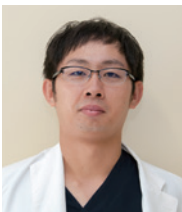
博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻繁に行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。

助教 武石 剛



脳神経外科教室に入局して現在に至ります。脳神経外科学のカバーする分野はとても幅広く、今では救急とは異なる専門性を持つ脳神経外科専門医となりましたが、当然後悔はありません。皆さんも「救急を含め幅広く神経(外科)疾患を扱う脳神経外科専門医」を一緒に目指してみませんか。

堀之内 翔一



私は初期研修医の時に外科系に進もうと決め、その中でも特にやり甲斐のありそうな脳神経外科を選びました。脳神経外科は脳腫瘍や脳血管障害を始め、扱う疾患の多くが患者の命や生活に直結することが多いです。ストレスフルな日々ですが、その反面やり甲斐としてこれ以上のものはないと思います。その中でも日々の休日は基本的に当直医対応で夏季休暇2週間や冬季休暇1週間もありオンとオフの切り替えも充実した環境となっています。この恵まれた環境で手術だけでなくカテーテルによる血管内治療等幅広く一緒に成長してみませんか。まずは見学からでも皆さんのお越しをお待ちしております。



お問い合わせ先

T E L : 0985-85-3128
F A X : 0985-84-4571

担 当 : 大田 元

e-mail : miyazakineuros@gmail.com

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/

脳神経外科 HP



放射線科専門研修プログラム

目指せ！“Doctor's doctor”
必要とされる優れた放射線科医へ！

募集定員
5名

研修期間
3年

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	平井 俊範 教授、他10名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、藤元総合病院、産業医科大学病院		
関連施設	都城健康サービスセンター		

取得可能な専門医資格 および技能

- 放射線科専門医
- 放射線科診断専門医
- 放射線治療専門医
- 日本核医学会核医学専門医
- 日本IVR学会専門医 など

専門医取得までの タイムスケジュール

放射線科医になると決めたら、初期研修後、3年間の研修(画像診断、核医学、放射線治療)後、放射線科専門医試験を受験します。専攻医のみなさんはまずはこの放射線科専門医を目指しますが、ここがゴールではありません。放射線診断か放射線治療のいずれかを選択研修(2年間)し、放射線診断専門医あるいは放射線治療専門医に合格するとそれぞれの専門医として一人前と認められます。



責任者からの メッセージ

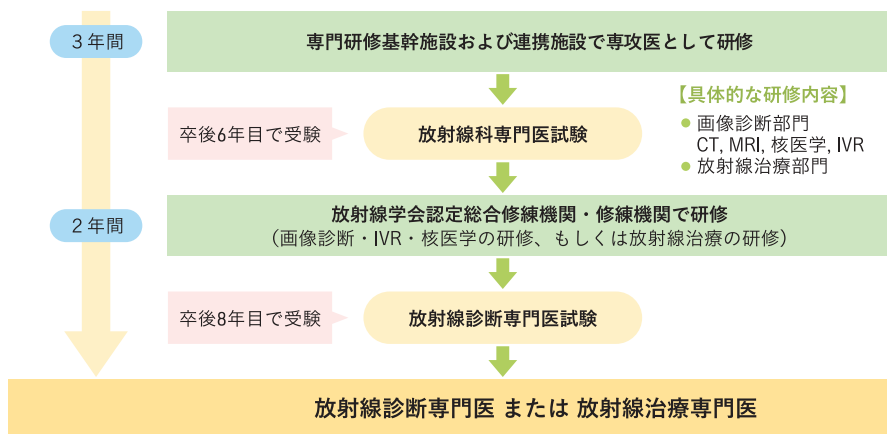
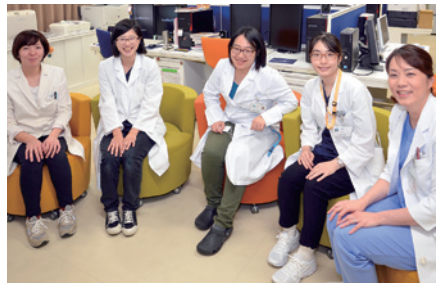
放射線科
科長 平井 俊範



現在の高度化した医療において、放射線科医は正確に診断し、適切に治療をおこなう上で非常に重要な役割を担っています。当プログラムでは、最先端の画像診断、IVR、放射線治療機器を用いた全国でもトップクラスの設備で研修ができます。全身の領域の診断・治療を幅広くカバーしていることから、本プログラム終了後に自分のやりたい仕事を必ず見つけることができます。また、当科は自分にあった仕事をその年代・ライフスタイルに合わせて選ぶことができるのが大きな利点です。小さな子供のいる女性にも家庭の仕事をしながら医師を続けることが可能です。仕事と家庭の両立をしながら自分らしく働くことができますはずです。

プログラムの特徴

- 国内で最もレベルの高い放射線診断(画像診断・核医学・IVR)、放射線治療のトレーニングを受けることができます。
- 宮崎大学病院には最先端の画像機器・IVR装置が導入されており、最先端の画像診断・IVR診療を体験することができます。
- 宮崎県立宮崎病院、都城市郡医師会病院などの中核病院での研修を通して、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断など総合的な診療能力を培えます。



プログラム達成目標

● 画像診断

(専門知識) 画像診断の各モダリティの原理や特徴を理解し、代表的疾患について画像所見を説明できる。

(専門技能) 各種画像診断法のなかから、最適な検査法を自分自身で指示できる。撮像された画像について客観的に適切な用語で所見を記載し、検査目的に即した内容でレポートを指導医の下で作成できる。

● IVR

(専門知識) 代表的な血管系・非血管系IVRについて、その意義と適応、手技の概要、治療成績、合併症を説明できる。

(専門技能) 血管系IVRについて基本的手技を指導医の下で実践できる。非血管系IVRについて適切なガイドを自分自身で選択できる。

● 放射線治療

(専門知識) 放射線治療の特徴と実際を説明できる。がん集学的治療に占める放射線治療の役割を理解し、手術ならびに化学療法との併用療法について理論的根拠を説明できる。

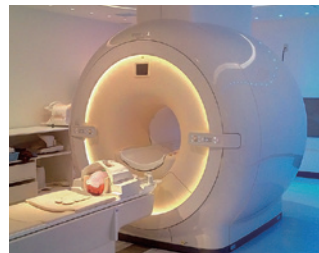
(専門技能) 各疾患に対する適切な放射線治療法について理解し、標準的な治療計画を指導医の下で立案できる。

主要症例と実績数

専攻医は放射線科専門医としての知識・技能を習得するために、一定数以上の読影レポート作成および検査の実施経験を積む必要があります。読影・検査・手技を行い、それぞれの経験症例として申請することができます。

放射線科の入院患者診療内容(年間：約60-70人)

経験すべき症例数：(例) CT 600例/3年 MRI 300例/3年など



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

		月	火	水	木	金
第1週 診断 IVR	AM	IVR	核医学	消化管造影	IVR	CT
	PM	CT	CT 画像診断カンファレンス	MRI 救急カンファレンス	MRI 病棟カンファレンス 神経放射線カンファレンス	MRI
第2週 診断 IVR	AM	IVR	核医学	関連施設で消化管造影・US	IVR	CT
	PM	CT	CT 画像診断カンファレンス	MRI 救急カンファレンス	MRI 病棟カンファレンス HCC カンファレンス 神経放射線カンファレンス	MRI
第3週 診断 治療	AM	病棟診察	病棟診察	病棟診察・US	病棟診察	病棟診察
	PM	放射線内用療法	放射線治療計画 画像診断 カンファレンス	放射線治療計画 救急カンファレンス	放射線治療計画 病棟カンファレンス 神経放射線カンファレンス	放射線治療計画
第4週 診断 IVR	AM	IVR	核医学 画像診断カンファレンス	関連施設で消化管造影・US	IVR	CT
	PM	CT	CT 画像診断カンファレンス	MRI 救急カンファレンス	MRI 病棟カンファレンス HCC カンファレンス	まとめ(指導医)

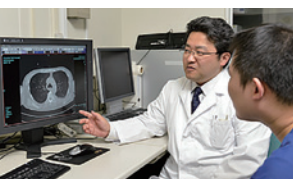
指導医からのメッセージ



医局長 水谷 陽一

画像診断の面白さは、画像を通して患者さんの状態、病態の全体像を「体の外」から見る点にあります。画像機器は革新的に進化し、放射線科医になりたての頃は想像もできなかったような画像が得られるようになりました。それに伴い得られる情報も莫大に増えています。私が放射線科に進んだ

際には、今の画像診断技術の進歩を全く想像できませんでした。10年後は、現在では想像さえしなかった画像診断技術が生まれているでしょう。放射線科は常に科学技術の最先端を感じることができる分野です。このような急激な発展をした科であるからこそ、専門医が不足しているのが現状です。ぜひ皆さんの力を貸して下さい。



お問い合わせ先

担当：水谷 陽一

T E L : 0985-85-2807
F A X : 0985-85-7172
e-mail : youichi_mizuta@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/>



麻酔科専門研修プログラム

家庭も仕事も大事にしたいから、
麻酔科いいんじゃない・・・

募集定員
15名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

麻酔科
科長 恒吉 勇男



当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不合理は認め

ません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅の広い研修を積むことができます。もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。4年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	恒吉 勇男 教授、他10名	麻酔、集中治療、ペインクリニック
連携施設A	県立宮崎病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、潤和会記念病院、宮崎江南病院、神戸大学医学部附属病院、神戸労災病院、産業医科大学病院、九州労災病院、北九州総合病院、地域医療機能推進機構九州病院、九州大学病院、国立病院機構九州医療センター、福岡市立こども病院、福岡県済生会福岡総合病院、福岡大学病院、福岡赤十字病院、福岡大学筑紫病院、久留米大学病院、久留米大学医療センター、大牟田市立病院、大分大学医学部附属病院、大分県立病院、熊本大学医学部附属病院、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター・好生館、嬉野医療センター、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院		
連携施設B	国立病院機構都城医療センター、県立日南病院、県立延岡病院、雪の聖母会聖マリア病院、筑後市立病院、熊本労災病院、熊本中央病院、国立病院機構熊本医療センター、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター		

専門連携施設A：研修プログラムの中核的な施設として十分な臨床実績と指導体制を有する施設

専門連携施設B：必要に応じて部分的な補充が出来る施設

取得可能な専門医資格および技能

- 麻酔科専門医
- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 緩和ケア専門医
- 区域麻酔専門医
- 老年麻酔専門医
- 心臓血管麻酔専門医
- 小児麻酔専門医



プログラム達成目標

昨今、麻酔科は専門性を高め、高度医療には欠かせない診療科となっています。麻酔科ニーズは、宮崎ではとても高いものがありますので、将来にわたって不安なく就労することも出来ます。さらに、ペインクリニック、集中治療、緩和ケアなどのサブスペシャリティーを修得すると、さらに魅力的な麻酔科医に成長することが出来ます。

主要症例と実績数

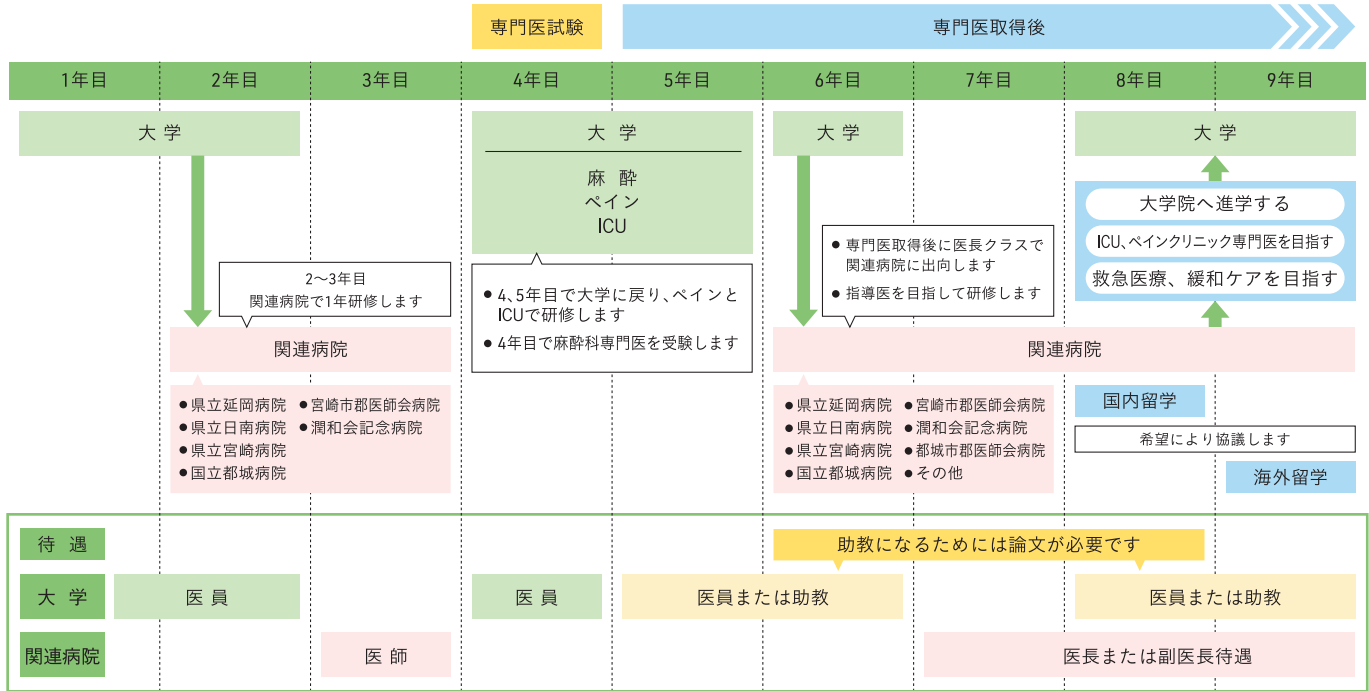
大学病院実績（H30）	
症例	実績数
総手術件数	6,891例
麻酔科管理症例	4,561例
ペイン外来	365人
集中治療室	1,156人

専門医取得までのタイムスケジュール

はじめの2年間は大学にて麻酔研修を行います。基本的な麻酔症例から、2年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後1～2年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着

けます。4～5年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤しむこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

宮崎大学麻酔科 後期研修医研修プログラム



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金	土	日
AM	手術室					休み	
PM	手術室					休み	
当直			当直				当直

指導医からのメッセージ

麻酔科医としてどこでも通用する高い技術レベルを指導します。医局も明るく朗らかで、いい人ばかりです。いわゆるブラックな人はいませんので、安心して仕事に打ち込むことができます。麻酔科医としての成長に終わりはありません。麻酔科は、クオリティオブライフを保ちつつ自己研鑽に努めたい方には是非ともお勧めできる診療科です。心より、お待ちしております。

先輩からのメッセージ

入局を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ病院見学に来てください。見学に来られた際には、もっといろんなお話ができるかと思いますので、ぜひ見学だけでも来てください。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9357

麻酔科、集中治療部、ペインクリニック科

担当：石山 健次郎

e-mail：kenjiro_ishiyama@med.miyazaki-u.ac.jp

麻酔科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/

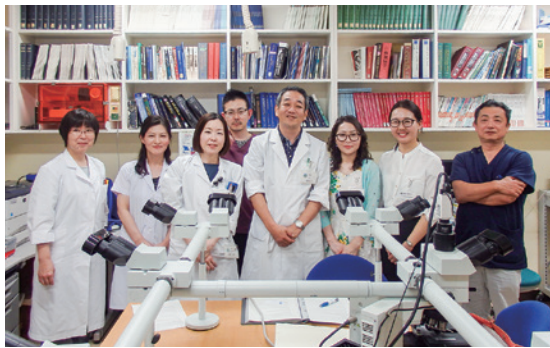


病理専門研修プログラム

信頼され、求められる病理医と一緒に目指そう！

募集定員
2名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

病理診断科
教授 浅田 祐士郎



宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とともに、一緒にマクロ・ミクロの病理標本をみながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがつめます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。宮崎県内の病理医も少しずつ増えています。宮崎大学で、一緒に病理医としてのトレーニングをつんでみませんか。

プログラムの特徴

- ① 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
- ② 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
- ③ 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
- ④ 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
- ⑤ 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作製も行える。

取得可能な専門医資格および技能

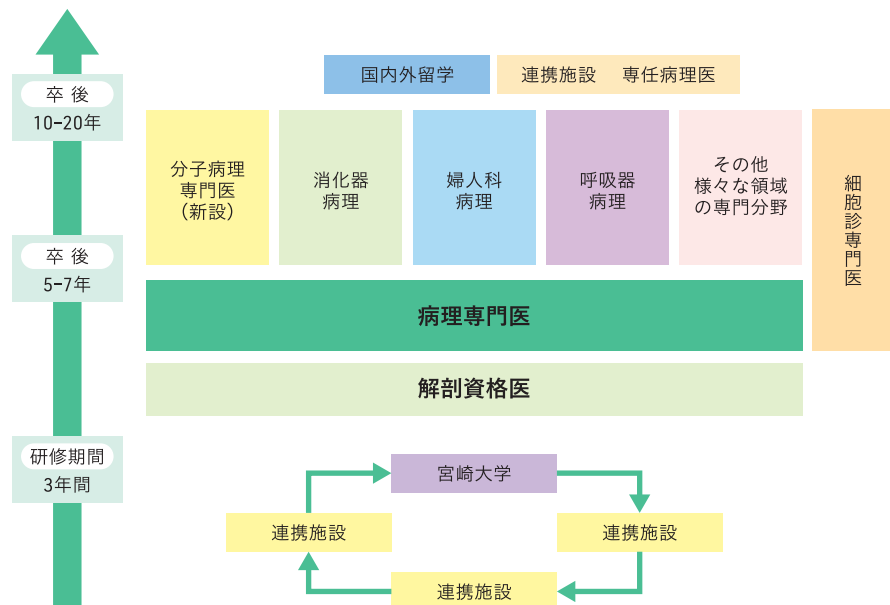
病理専門医：病理解剖、生検、術中、手術材料の病理診断、細胞診断が早く正確な診断が行える。
解剖資格医：解剖を安全にかつ正確に行える技能を身につける。
細胞診専門医(新規)：細胞診断を正確に行い、細胞診技師を指導できる。
分子病理専門医(新規)：分子病理に精通、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

連携施設名等

	施設名	指導医
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	浅田 祐士郎 教授、他10名
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、潤和会記念病院、大悟病院、善仁会病院	
連携施設	古賀総合病院、宮崎江南病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、都城医療センター、防衛医科大学校病院、がん研究会有明病院	

専門医取得までのタイムスケジュール

本プログラムでは、宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、3年間は専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。連携施設と併せて年間80例以上の剖検数があり、組織診断も27,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。研修終了後1年間は基幹施設または連携施設において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。宮崎大学に在籍する場合には研究や教育業務にも参加していただきます。専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設において診療を続け、サブスペシャリティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学(国内外)や連携施設の専任病理医となることも可能です。



プログラム達成目標

病理専門医は病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解のもと、医療における病理診断(剖検、手術標本、生検、細胞診)を的確に行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保するとともに患者を正しい治療へと導けることを目標とする。生検、術中病理診断、手術材料の診断においては、診断が比較的容易で症例数の多いものからはじめ、希少症例、難解症例では鑑別診断をあげられるようにする。剖検では、執刀からCPC、および報告書作製まで行い、全身臓器に精通し、症例をまとめる能力を身に着ける。

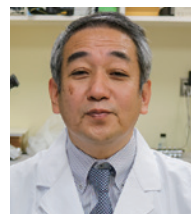
日課タイムスケジュール

時間	病理診断当番	解剖当番
AM	生検・手術検体診断	病理解剖
PM	指導医による診断内容チェック	追加検査提出、症例まとめ記載
	手術材料 切出	

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月	火	水	木	金
産婦人科合同カンファレンス	外科カンファレンス	産婦人科術前カンファレンス	神経放射線病理カンファレンス	解剖症例肉眼チェック
頭頸部カンファレンス(隔週)	泌尿器科カンファレンス(隔週)	骨髄生検カンファレンス	外科病理抄読会	
呼吸器カンファレンス(隔週)	腎生検カンファレンス	C P C	研究検討会	

指導医からのメッセージ



病理部部长 佐藤 勇一郎

病理部長の佐藤です。病理医になって30年近くたちますが、わからないことが次々でてくる広くて深い仕事になります。宮崎大学の病理メンバーは少ないのですが、少数精鋭だと思っています。“人体”という宇宙の世界に興味のある方はぜひ一緒に挑戦してみませんか。

先輩からのメッセージ



大栗 伸行

病理診断科で専門医研修3年目の大栗伸行です。病理に入って良かったと思うところは全身の臓器を見ることができ、病気の全体像を眺めることができます。先輩の先生方からの指導も丁寧でわかりやすく、徐々に自分の診断の力が付いてきていると感じる時に非常に充実感があります。また、ベッドフリーなので時間外に呼び出されることもなく、家族との時間も作りやすく計画も立てやすいです。是非、一緒に病理医ライフを楽しみましょう！

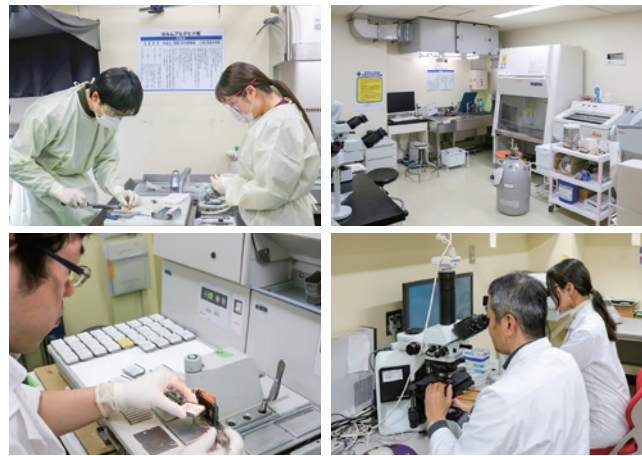
主要症例と実績数

症例	実績数
組織診断	約25,000
術中迅速診断	約1,300
細胞診	約30,000
病理解剖数	約70

助教 前川 和也



病理医の仕事の魅力は、組織に肉眼的あるいは顕微鏡的变化を生じうる疾患であれば、あらゆる臓器の疾患の診断プロセスに関与することです。治療よりも診断に興味がある君にピッタリのお仕事です。



お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2809
F A X : 0985-85-2809
担当：浅田 祐士郎
e-mail : yasada@med.miyazaki-u.ac.jp

病理 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/>



募集定員
1名研修期間
3年

責任者からのメッセージ



検査部
部長 岡山 昭彦

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

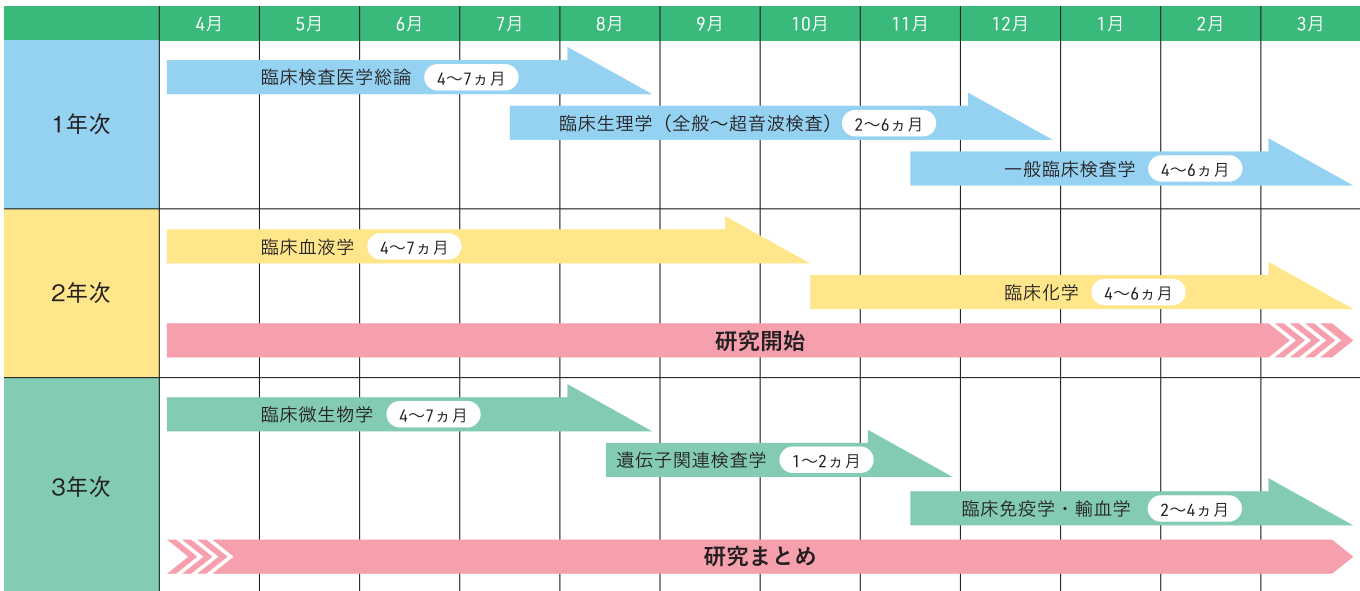
取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。

以下はプログラム制の例です。3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- ① 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- ② 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- ③ 検査データカンファランス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- ④ 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。

週間スケジュール

下の例は臨床生理学(特に超音波検査)の研修を優先させる場合について記載します。

○ 超音波検査集中研修時

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	超音波検査研修				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

○ 超音波検査研修修了後

時 間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研究室などでの研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髓像検査の報告書作成を行います。

主要症例と実績数

- ① **臨床検査医学総論**：外部精度管理(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、CAPなどが実施)の成績(3回以上)。
- ② **一般臨床検査学・臨床化学**：内部精度管理(10項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(10項目以上について。各項目は3回以上)。
- ③ **臨床血液学**：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。病的末梢血液像、病的骨髓像についてはあわせて10例以上。
- ④ **臨床微生物学**：一般細菌培養(グラム染色所見を含む)により起病因菌同定と薬剤感受性試験が行われた症例(10例以上)。抗酸菌培養、抗酸菌塗抹検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑤ **臨床免疫学・輸血学**：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。血液型判定(変異型も含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑥ **遺伝子関連検査学**：血液造血器腫瘍、悪性腫瘍、薬物代謝に関連した遺伝子、または遺伝性疾患の遺伝子診断が行われた症例(2例以上)。
- ⑦ **臨床生理学**：超音波検査(5例以上)、心電図検査(5例以上)、呼吸機能検査(2例以上)、神経・筋関連検査(2例以上)。超音波検査は実施したものとする。

救急科専門研修プログラム

病院前から集中治療まで管理できる
General Emergency Physicianを目指そう！

募集定員
7名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

救急科
教授 落合 秀信



本プログラムは、ドクターヘリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科

の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”の育成も目的としています。

“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”と“世界を視野にいたれた情報発信”を合言葉と一緒に研鑽していきませんか？

プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターヘリ、ドクターカー等の病院前救急診療を学ぶ体制も充実しています。救命救急センター内に救急救急室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても十分に整備されています。また特殊な教育的試みとして解剖体を用いた救急手技トレーニングシステムを構築しており、経験する頻度の少ない重要手技について解剖体を用いて修練を積むことも可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	落合 秀信 教授、他 7 名	三次救急医療施設、基幹災害拠点病院、災害拠点病院、ドクターヘリ、ドクターカー配備、地域MC協議会中核施設
連携施設	県立宮崎病院、宮崎善仁会病院、都城市郡医師会病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院		
関連施設	小林市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

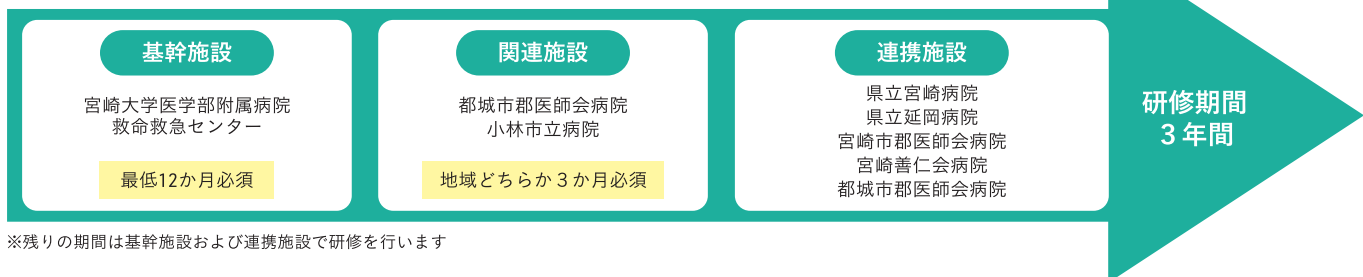
救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修中における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャリティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。また、今後、サブスペシャリティ領域として検討される熱傷

専門医、外傷専門等の連続性も配慮されます。その他、ICLSやJATEC、JPTECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

専門医取得までのタイムスケジュール

原則として、3年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12ヶ月必須とし、県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。地域医療の研修として、小林市立病院、都城市郡医師会病院のいずれかでの

研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



総合診療専門研修プログラム

宮崎の地域医療を支える医療人を目指そう

募集定員
4名

研修期間
3年



ラボして活躍していける臨床医、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる医師を目指そう。それは総合診療医、家庭医ともいいます。日本ではまだまだマイノリティーですが、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤になっている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。ぜひ飛び込んでください。全力で育成します！

プログラムの特徴

熱い指導医が揃っています。熱いスタッフが待っています。熱い患者さん、ご家族が待っています。これまでのプログラムからバージョンアップしました。教育サイトに都農が加わりました。特に人員を集中して教育サイトを強化しました。県央地区で研修ができるように県内3つのプログラムとも協働していきます。総合診療は海外専攻医(タイPSU他)との交流も、Web会議を利用した勉強会、教育コンテンツの増強を行います。なお、現在関連施設などの変更追加申請中です。県内の他PGとも連携強化して研修の幅が広がるようにします。

総合診療：都農、田野、高千穂、串間、県立宮崎、椎葉
内科：県立日南
小児科：県立日南、高千穂、都農
救急：大学、都城

連携施設名等

	施設名	専門分野・特徴	病床数
基幹施設	串間市民病院	総合診療Ⅱ	120床
	日南市立中部病院	総合診療Ⅰ	93床
連携施設	宮崎市立田野病院	総合診療Ⅰ	42床
	県立日南病院	内科、小児科	334床
	高千穂町国民健康保険病院	総合診療Ⅱ、小児科	120床
	都農町国民健康保険病院	総合診療Ⅰ、Ⅱ、小児科	65床
	椎葉村国民健康保険病院	総合診療Ⅰ、Ⅱ	30床
	都城市郡医師会病院	救急科	220床
	宮崎大学医学部附属病院	救急科	632床

専門医取得までのタイムスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療Ⅱ						内科					
	串間市民病院						県立日南病院					
2年目	内科						総合診療Ⅰ					
	県立日南病院						日南市立中部病院					
3年目	総合診療Ⅱ						救急			小児		
	串間市民病院						宮崎大学医学部附属病院			県立日南病院		

① 自己学習

- (1)学会が行っているセミナーのDVDやオンデマンドの配信
- (2)MKSAPなどセルフトレーニング問題の履修

② ポートフォリオ検討会

レジデントデイ(月1回)

③ 学術活動に関する研修

- (1)総合診療系の学術集会や企画への参加(必須)
- (2)筆頭者としての学会発表あるいは論文発表等

責任者からのメッセージ

地域医療・総合診療医学講座
教授 吉村 学



地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを持ち、そして様々な人々とコラボして活躍していける臨床医、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる医師を目指そう。それは総合診療医、家庭医ともいいます。日本ではまだまだマイノリティーですが、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤になっている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。ぜひ飛び込んでください。全力で育成します！

取得可能な専門医資格および技能

総合診療専門医、新・家庭医療専門医

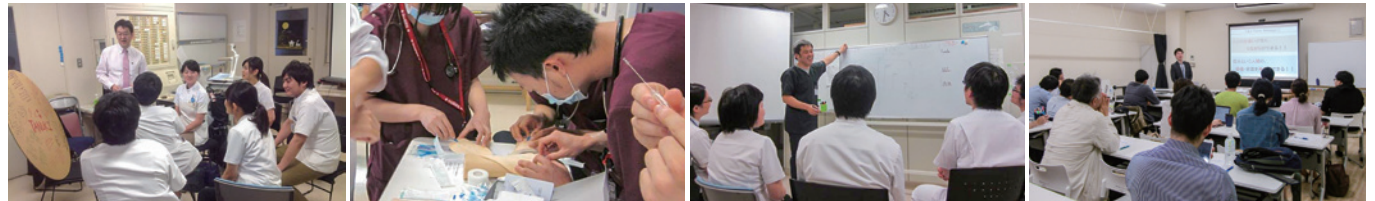
- ① 外来、救急、病棟、在宅という多様な総合診療の診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
- ② 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
- ③ 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
- ④ 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同で行うリーダーシップ能力

総合診療専門研修Ⅰ：診療所または地域の中小病院(規模は以下の要件を満たせば病床数では規定しない)で、外来診療(学童期以下の小児、後期高齢者の診療を受け入れていること)、訪問診療(在宅療養支援診療所・病院またはこれに準じる施設)および地域包括ケアの研修が可能な施設。

総合診療専門研修Ⅱ：総合診療部門(総合診療科・総合内科等)を有する病院(規模は以下の要件を満たせば病床数などで規定しない)で、一般病床を有し救急医療を提供し、臓器別でない病棟診療(高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等)と臓器別でない外来診療(救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験等)の研修が可能な施設。

プログラム達成目標

1年次修了時には、地域で生活する患者の情報を多職種で共有して解決する方法を習得し、2年次修了時には、患者の診断や治療まで積極的に行い、かつ患者の生活背景を考えた退院後のマネジメントができるようになります。3年次修了時には、より複雑な症例や患者の問題点を多職種連携で共有し、解決できるようになります。また地域に必要な皮膚科、産婦人科、整形外科などのよく遭遇する病態、疾患には必ず対応できるようになります。総合診療医として必要な日常に多く遭遇する疾病や傷害に対する初期対応は習得できるように、研修を行うことができます。患者の縦断的、横断的なマネジメントおよび、医療、介護、福祉との連携を実践することができ、研修終了時には地域包括ケアを実践する能力が習得できます。



指導医からのメッセージ



松田 俊太郎

“患者をまるごと診る”、次に“病院をまるごと診る”、さらに“地域をまるごと診る”こと、ができるような医師像を目標としています。これは、地域に根付いた総合診療を実践しなければ決して体験することのできない、地域医療を基盤とした総合診療の醍醐味であると思います。総合診療専攻医の役割は多岐にわたり、一般的な内科疾患、臓器別の専門性だけでは片づけることのできない疾患、小児の対応、あらゆる救急疾患の初期対応、悪性疾患だけでなく非悪性疾患患者の終末期の対応、在宅医療の実践、予防活動などです。医学部入学を志したときの医師像に近い“お医者さん”になることができると思います。

先輩からのメッセージ



梶原 一旭

『患者さんの力になりたい』医師を志す者であれば共通する想いを、臓器によらず、年齢によらず、働く場所によらず、発揮したいと思う方に適切な専攻医研修だと思っています。プライマリ・ケア、病む人が最初に医療の門戸をたたく最前線で、common diseaseや救急医療において適切な医療を提供する事、場合によっては専門科への適切な道筋をたてる事、また、治療のみならず予防医療を行う事、医療以外の介護や福祉、社会的な問題が絡んだコンプレックスケースにも多職種と連携して解決策を探る事。将来どのような道を志そうとも医師として基礎・コアとなるスキルを習得することができる充実した3年間でした。

主要症例と実績数

串間市民病院総合診療科 1年あたり入院症例数約800名うち消化器疾患2割、呼吸器疾患4割、心疾患2割、代謝性疾患1割、その他多岐にわたります。1年あたり内視鏡検査数約1,800例うち上部消化管内視鏡約1,400例、下部消化管内視鏡約400例程度になります。外来は平日40-50例、かかりつけ医としての診療が主になりますが、新規外来患者数は救急受診も含めて5-10例になります。訪問診療件数は1年あたり約350名です。

桐ヶ谷 大淳

総合診療に欠かせない要素として、マックウィニー先生は次の4つをあげました。さまざまな疾患についての知識・技能のみならず、患者全体や患者の抱える背景にまで迫る、さらには個人レベルからシステムまでの多角的・包括的アプローチができる、そんな学びを一緒にしていきませんか。

- ① 良好な患者医師関係を構築し、その上に立って診療するという医療分野である
- ② 一般化された対象よりも個々の患者を中心に考える(あなたのための専門医)
- ③ 生物医学的な機械論よりも、有機的なつながりを重視する
- ④ 心・身の二元論を超えたアプローチをする医療分野である



枝元 真人

専攻医1年目は串間市民病院で救急外来・一般外来・急性期病棟管理・在宅医療と幅広く携わることができました。救急外来で出会った患者さんを病棟で入院管理し、自分の外来で付き合っていたり、在宅で看取ったりと、一人一人の患者さんにとことん付き合っている楽しさがあります。また、院内の勉強会を開いたり、地域の座談会に足を向けたりと、「患者・病院・地域をより良くするために、やろうと思ったことは何でも自分の仕事にできる」土壌があり、それを支えてくれる指導医がいる恵まれた環境です。1つの診療科にこだわらず、患者さんや地域を丸ごと支えてみたいという方にお勧めできるプログラムになっています。

ぜひこの分野のパイオニアに！熱いです。熱い地域医療と一緒に燃えてやろう。

お問い合わせ先

担当：吉村 学

T E L : 0985-85-9809
F A X : 0985-85-9805
e-mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp

総合診療科 HP

[http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/
community-medicine/](http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/)



〇宮崎大学専門研修プログラム専攻医(医員)の処遇について

専門研修プログラム専攻医の身分	非常勤医師(医員)					
専門研修プログラム専攻医の給与	宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。 詳細は、お問い合わせください。					
	賞 与	無	時間外手当	有	宿日直手当	有
勤務時間	月曜～金曜 8時30分～17時15分（週38.75時間勤務）					
休 暇	有給休暇	1年次 10日（2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます。）				
	特別休暇の有無	有（夏季休業、リフレッシュ休暇等）				
	その他の休暇	無給休暇（産前産後休暇、病気休暇等）				
宿 舎	専門研修プログラム専攻医（医員）は、宮崎大学が所有している宿舎に入居することができます。 （状況により入居できない場合があります。）					
社会保険及び労働保険	公的医療保険	健康保険				
	公的年金保険	厚生年金保険				
	労働者災害補償保険の有無	有		雇用保険の有無	有	
健康管理	健康診断	年1回実施				
	その他	特殊健康診断・特別定期健康診断（該当職種者の場合）、 臨時健康診断（必要がある場合）				
医師賠償責任保険の取り扱い	医師賠償責任保険の加入は、任意の個人加入とする。					
兼 業	可（専門研修連携施設に在籍期間中は、各病院の待遇によります。）					
保育園	院内保育園あり （くすのき保育園）					

〇宮崎大学医学部附属病院施設紹介

くすの木保育園

病院前宿舍敷地内に宮崎大学に勤務する職員の乳幼児を預かる「くすの木保育園」があります。週2日の24時間保育、延長保育、一時預かり、病後児保育も行っています。

	保育時間
基本保育	月～土 7:00～19:00
延長保育	月～土 19:00～22:00
終夜保育	火・木 22:00～翌7:00



子育て応援します！勤務に合わせてご利用ください。

就学児一時預かり室

木原職員宿舎F102に、清武キャンパス職員が保護者である小学生を対象とした「就学児一時預かり室」があります。

- 開設曜日と時間
月～金(祝日は除く) 17:00～19:30
- 対象
清武キャンパス職員が保護者である小学生
(本預かり室に慣れるため小学校入学前の利用可。)



宮崎大学附属図書館医学分館(清武キャンパス)

1階は、オープン学修スペース・ラーニングコモンズ。2階は静かに集中して学習できるキャレル、e-ラーニングルームなどを完備。医学系の専門書などのべ12万3,000冊以上の蔵書を揃え、多様化する“学びの形”を支えるため広く活用されています。

	月～金	土・日	祝・休日
通常期	9:00～20:00	13:00～17:00	休 館
休業期	9:00～17:00	休 館	



〇仕事も趣味も充実！理想のワークライフバランスを実現！

宮崎県では、サーフィン、ゴルフ、スノーボードなどアクティブなスポーツを楽しむことができます。仕事を忘れるくらい没頭できる趣味も宮崎ではじめてみませんか。

スキー・スノーボード

日本最南端の天然スキー場です。スノーボードも全面滑走可能で雪質も良く、毎年たくさんのスキヤー・スノーボーダーで賑わっています。



ゴルフ

南国ならではの一年中温暖な気候のため、冬場でも緑の芝が美しく映えるなど、一年を通して最高の環境でゴルフが楽しめます。



サーフポイント

- 伊勢ヶ浜
- お倉ヶ浜
- 金ヶ浜
- 伊倉浜
- 蚊口浜
- 佐土原浜
- 木崎浜
- 青島
- 白浜
- 石波浜
- 恋ヶ浦

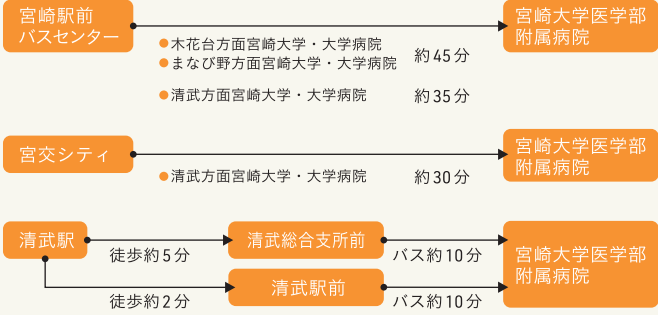
サーフィン

県北の日豊海岸から南国らしい明るい海が開ける日南海岸まで、約400kmにわたって海岸線が続いています。宮崎の海は全国屈指のサーフポイントが点在し、初心者から上級者まで誰もがサーフィンを楽しむことができます。



〇アクセス

バス



JR



車・タクシー

- 南宮崎駅から 約25分
- 木花駅から 約15分
- 宮崎空港から 約20分
- 清武駅から 約10分

